

## 障害者福祉施設従事者等による障害者虐待への対応状況等について（平成24年度分）

### （１） 相談・通報・届出件数

県内35市町村で受け付けた障害者福祉施設従事者等による障害者虐待に関する相談・通報・届出件数は12件であった。

### （２） 相談・通報・届出者（重複有）

「被虐待者本人」と「当該施設・事業所職員」が33.3%と最も多く、次いで「匿名」が25.0%となっている。

相談・通報者	件	%
被虐待者本人	4	33.3
家族・親族	1	8.4
当該施設・事業所職員	4	33.3
不明（匿名を含む）	3	25.0
合計	12	100.0

### （３） 市町村による虐待事実の確認調査結果

種別	件	%
虐待の事実が認められた事例	3	25.0
虐待の事実が認められなかった事例	7	58.4
虐待の事実の判断に至らなかった事例	1	8.3
明らかに虐待はなく、事実確認調査不要等	1	8.3
合計	12	100.0

### （４） 虐待の状況

#### 事例1

被虐待障害者	男性，30歳，知的障害，障害程度区分5
虐待の種別	身体的虐待，心理的虐待 (利用者が作業中のときに，担当指導員が本人の顔にガムテープを貼ったりはがしたりを繰り返していた。)
サービス種別	就労継続支援B型
虐待を行った従事者の職種	職業指導員
障害者虐待に対して取った措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村による事業所に対する訪問指導</li> <li>・市町村による事業所に対する障害者虐待防止法の説明と指導助言</li> <li>・市町村による事業所（法人本部含む）に対する職員研修の実施</li> </ul>

## 事例 2

被虐待障害者	女性， 48 歳， 身体障害， 障害程度区分 4
虐待の種別	身体的虐待 (朝食を取るため食堂で着席していた被虐待障害者が， 向かい側の席の利用者とテーブルの押し合いとなり， 被虐待障害者が怒って食事を食べないで食堂を出ようとしたので， 生活指導員が説得するものの聞き入れてもらえず， 被虐待障害者の言葉が徐々に荒くなっていったことに対し， 生活指導員も冷静さを欠き， 被虐待障害者の左頬を平手で叩いた。)
サービス種別	生活介護
虐待を行った従事者の職種	生活指導員
障害者虐待に対して取った措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村による施設に対する訪問指導</li> <li>・ 市町村による虐待を行った障害者福祉施設従事者等への注意・指導</li> <li>・ 市町村から再発防止に向けた今後の取組について， 市町村に報告するよう指導</li> </ul>

## 事例 3

被虐待障害者	男性， 31 歳， 精神障害， 障害程度区分不明
虐待の種別	心理的虐待 (事業所の利用者に対し， 「間違い」， 「生きる価値なし」 などの心理的苦痛を感じさせるような， からかいの言葉等を発言した。)
サービス種別	就労継続支援 A 型
虐待を行った従事者の職種	指導員
障害者虐待に対して取った措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村による当該事業所に対する訪問指導， 改善計画の提出依頼</li> <li>・ 市町村による当該事業所従事者等への注意・指導</li> <li>・ 市町村から当該事業所に対する虐待防止に関する職員への啓発及び再発防止策について， 市町村に書面で提出するよう指導</li> </ul>